

大会における新型コロナウイルス感染防止対策について

1. 目的

公益財団日本スポーツ協会より広報された「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」「活動再開に向けた感染拡大予防ガイドラインについて」及びJVA「バレーボール競技に関わる大会再開ガイドライン」に従って、次の通り大会の選手、役員の感染防止対策を実施する。

2. 主催者側としての対応

- (1) 感染防止のための掲示。（体調不良、発熱がある場合の入場禁止、マスク着用、ゴミの持ち帰り、他）
- (2) 消毒液を準備し、使用用具を使用前、使用後に消毒する。
- (3) 会場の換気のため、常時フロアの扉を解放する。
- (4) 受付は手指消毒、非接触型温度計と体温計を準備する。
出入口は1か所を原則として運営する。
- (5) 1コートに入れるチームは最大4チームとしウォーミングアップについては1チーム半コートを使用する。（密集、密接、チーム間の接触を極力避けるため）
- (6) 感染発生の場合に備え、各チーム参加要件に来場者リストの提出を求める。

3. 試合前における参加チームの対応

- (1) 参加チームは、開館前及び受付時には他チームとの接触は極力避け、観客席の場所は原則として固定し、常時マスクを着用する。
- (2) 試合は安全のため無観客試合とし、チームの応援者の会場への入場を禁止する。
- (3) 大会参加者名簿、健康チェックシートを提出する。
- (4) 関係者は全員マスクを着用する。
- (5) 手指消毒液及び器具消毒液をチームで準備し、セット間および試合間に消毒する。
器具：ベンチ、試合球
- (6) 使い捨て手袋やごみ袋を準備する。（チームの使用済み衛生品の処理は各チーム）
- (7) コイントスの前の握手はせず、一礼とする。

4. 試合中における対応

- (1) 記録員、補助員はマスクを着用する。
- (2) チームが使用する場所の消毒
ベンチ等はチーム各自で消毒して使用する。
チームで使用したテープ、タオル等はチームで責任をもって持ち帰る。
(本部ですべての対応は出来ないなので、参加チームの協力をお願いします。)
チームで消毒液を持参し対応をお願いします。
- (3) ベンチスタッフ（監督・コーチ・マネージャー）は必ずマスクを着用することとし、選手は強制はしないが、希望により着用することはできる。控え選手はマスクをして応援する。
- (4) タオルや飲み物の保管の徹底をする。
- (5) 試合開始・終了のホイッスル後の選手は握手しない。（礼と挨拶はきちんとする。）
- (6) 体調の異常や激しい咳など異常を感じる選手については、試合中でも審判団と協議し、試合続行について検討する。
- (7) 選手はハイタッチやネット際などで相手に向けた状態での発声を控える。
- (8) 試合終了後、審判は審判台周辺と記録席、フラッグなどを、チームは、ベンチやモップ等の消毒を行い、速やかに退場する。
- (9) 観客席では、声による応援は禁止し、会話は控える。
(拍手は良いが、発声はさせない)

5. 大会終了後における対応

- (1) 大会終了後約2週間以内に大会参加者の中で、コロナ感染者が発生した場合は、必ず岡山県社会人バレーボール連盟に報告する。
報告先：鈴木悠司（TEL：090-7501-4335）
- (2) 報告があった場合は、理事長、競技委員長は速やかに参加全チームに連絡をする。
(具体的な対応・対処は県や市の指示に従う。)

6. 大会運営に必要な備品類

新型コロナウイルス感染防止に伴い関係者が準備する物は次の通りとする。

*マスクに関しては個人で準備をお願いします。

大会本部	参加チーム
① 注意喚起の掲示物	①消毒液（選手、器具等の消毒用）
② 消毒液（器具等の消毒、受付用）	②手指石鹸（チーム用）
③ 手指用石鹸（本部役員用）	③大会参加者名簿
④ ゴミ袋（本部役員用）	④健康チェックシート
⑤ 手袋（本部役員用）	⑤ゴミ袋（チームから出たもの）
⑥ 非接触式電子温度計、体温計	⑥手袋（チーム関係者用）
⑤ 手袋（本部役員用）	
⑥ 非接触式電子温度計、体温計	